

マダガスカル「女子ラグビーへの協力支援」 2017年9月～継続中(2023年9月現在)



ホワイトボードで戦術の説明をする隊員

背景/課題

マダガスカルでは、ラグビーは男女が共に参加できる人気のチームスポーツである。マダガスカルラグビー連盟は、ラグビーを心身ともに健全な青少年育成や社会活動への参加促進の枠組みと位置づけ、普及・拡大に努めている。特に、若年層への普及を目指して代表チームの指導に力をいれており、2017年9月に初代ラグビー隊員が派遣され、女子7人制代表を中心に支援し、ラグビーの普及に貢献している。これまで、長期2名、短期6名の隊員が派遣され、活躍している。

目的

- 女子ラグビー代表チームの支援を通して、女性が輝く世界の実現を目指す。
- ラグビーを通じた人材育成を目的に、競技の普及と競技人口の拡大に貢献する。

活動内容

- 女子7人制ラグビー代表チームへの指導
- 地域のラグビースクールでの指導および地方巡回指導を通じたラグビーの普及活動
- 青年層チームへの指導を通じた社会的規律等の指導

成果

- 女子7人制ラグビー代表の国際大会での成績が向上！2019年東京2020オリンピック・アフリカ予選3位、2022年女子7人制ラグビーワールドカップ出場(マダガスカル初の団体競技での世界大会出場と初勝利)、2023年インド洋島嶼国スポーツ大会優勝！
- 地域クラブや地方4県への巡回指導によりラグビーの普及に貢献している。